



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN



クラブテーマ 更なる奉仕を地域と共に

2008-2009年度 **第46号週報 No.1605**

2009年(平成21年)6月19日 第1605回例会記録 6月26日発行

2008-2009年度RI会長

李 東建



夢をかたちに

2008-2009年度 清水 良夫
第2590地区ガバナー

会 長	犬飼 和春	会長エレクト	河野 明光
副 会 長	横山 範夫	副 会 長	梅崎 興生
幹 事	古川陽太郎	副 幹 事	山田 正憲
会 計	館野 典久	副 会 計	朝日 達夫
S A A	布施 是清	副 S A A	飯田 泰之
クラブ会報	角田 伯雄	副 S A A	月山 勇(PP)

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30PM(第5金曜日18:00PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> **E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

- 司 会** 山田 正憲 副幹事
- 点 鐘** 犬飼 和春 会長
- 齊 唱** それでこそロータリー
- 四つのテスト** 川邊 正男 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)
- ゲスト紹介**

- 森 節子 様 (地区会員増強委員長)
- 佐藤 勝彦 様
- 小山 市康 様

ビジター紹介

- 川崎中 R.C 鹿島 庄平 君
- 津久井 R.C 佐々木裕修 君

入会記念日祝

- 横山 範夫 会員 (第22期 1998年6月19日入会)
- 西山 潔 会員 (第22期 1998年6月19日入会)



会長報告

6月度定例理事会報告

幹事報告

本日、例会終了後クラブ協議会を開催致します。

場所 4F フェアウィンド

明日、2008-09年度来日学生修了証書授与式および歓送会がキャメロットで開催されます。当クラブからは犬飼会長、江森新世代育成委員長、梅崎カウンセラー、ホストファミリーを務めて下さった梅崎夫人、館野会員御一家、中野正人さん御一家と私が出席致します。

次週6月26日は年度末夜間例会となります。

場所 キャメロットジャパン 14F アネックス 点鐘 18時

出席報告

上阪 哲也 委員長

会員総数	64名	(52+12)名
出席会員数	51名	(44+7)名
出席率	86.44%	
ゲスト	3名	ビジター 2名
前回補正後	87.93%	前々回補正後 95.08%

本日《6月26日》のプログラム

年度末夜間例会

スマイルボックス

布施 是清 SAA

森 節子君 クラブの皆様、小池先生には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

佐々木裕修君 メーキャップにまいりました。お世話になります。

鹿島庄平君 お世話になります。

永井隆俊君 長い間お世話になりました。

犬飼和春君 一年間会員の皆様に支えられて、ここまでできました。

心より感謝申し上げます。

横山範夫君 入会記念日祝いありがとうございます。

西山 潔君 入会記念日のお祝いをいただきありがとうございます。

入会して11年過ぎました。これからもよろしくお願い致します。

富居利貞君 会長、幹事、理事、役員、委員長の皆様一年間ご苦労様でした。

青柳 紀君 横浜に出嫁ぎにきて33年、今月妻のおねだりに負けて33店目の店を作ってしまいました。ピストロ風我亭と申します。よろしく。

飯田 昇君 犬飼会長、古川幹事始め理事、役員の皆様、一年間ご苦労様でした。

岩澤利雄君 犬飼会長、古川幹事、今期はガバナーノミニーの問題を始め難しい事件ばかりでご苦労様でした。あと半月足らずです。ゆっくり休んで下さい。

鴻 義久君 脇田ご夫婦には昨日大変お世話になりました。ありがとうございました。

山本 登君 夜間例会、所用にて欠席致しました。一年間ご苦労様でした。

小池将夫君 森地区会員増強委員長、一年間ご苦労様でした。本日はようこそおいで下さいました。

吉田隆男君 犬飼会長、古川幹事、一年間お疲れ様でした。

山田富雄君 先日の最終親睦委員会、過去最多の出席皆様ご苦労様でした。長井委員長、田口副委員長一カ年本当にご苦労様でした。

江森国一君 犬飼会長、古川幹事、一年間ご苦労様でした。いよいよ来週の最終例会を残すだけになりましたね。

脇田いすゞ君 鴻さん、長井さん、田中龍太郎さん、山本芳弘さん、赤堀さん、昨日は、お付き合いしていただきありがとうございます。

長井 章君 16日の親睦委員会に出席の皆様、大変お疲れ様でした。次年度委員長の植田さんにも出席していただき、楽しい納会となりました。

布施是清君 本年度の例会も夜間例会を残すのみとなりました。スマイルによる皆様の浄財は、奉仕活動に活かされています。今年度目標額をもう少しでクリアしそうですのでぜひご協力をお願い致します。

卓 話

「年度末挨拶」

会長 犬飼 和春



今年度も余すところあと10日程となりました。来週が夜間例会のため、本日年度末のご挨拶をさせていただきます。

27年前に神奈川県ロータリークラブに入会させていただきましたが、クラブに対しては然したる活動や貢献もせず、ただ入会以来100%例会出席（卓話中は居眠りが多かったが）のみを維持してきただけの会員でした。このような私に会長の大役を指名していただき、また承認していただいた会員の皆様にまず深く感謝申し上げます。

今年度、古川幹事と私は同じ団塊世代ですが、ロータリー歴27年の私は入会11年目でもロータリーを熟知しているミスターロータリアンの古川幹事さんに励ましをいただき、助けていただいたの一年間でした。反面、会長幹事で意見の一致を見ないこともありましたが、お互いロータリー精神を尊重し合い、クラブの将来やクラブの発展を考えて運営をしてきたつもりでした。また理事、役員、委員長さん達も自分達に与えられた責務や事業計画を計画通り遂行していただきました。会員の皆様に心から助けられた一年間であったことは言うまでのことなく深く感謝申し上げます。

今年度も不況の風が吹き荒れており、特に昨年秋発生した世界的経済危機、金融不安の中でのロータリー活動は期待に応えられるほどの成果をあげることはできない年度でした。幸いのこと事務局長の渡辺幸実さんが第一子出産後間もない中事務局員に復帰し、一生懸命事務面の空白時間を取り戻し切り盛りしていただいたことに深く感謝致します。

まず年度初めの会長指標に書きましたが、神奈川県ロータリークラブ33年の悲願であったガバナー選出実現に向け、会員総意の下、地区に推薦できたことは会長として大変嬉しい気持ちでいっぱいです。クラブ会員が一丸となって一つの目標に進んだことにクラブの団結力を感じました。結果は大変残念なことになりましたが、逆に今後クラブがより発展成長していく上での課題や基盤整備の必要性が見出せたと思っています。

さて今年度「更なる奉仕を地域と共に」と掲げ、地元地域への奉仕活動と国際的な奉仕を目指し、前年度からの活動を継承しつつも

6月19日	20件	69,000円
本年度累計額		2,315,212円

奉仕活動を拡大していく計画を立てました。

社会奉仕委員会の天野委員長には昨年10月に開催された神奈川県民まつりには社会奉仕委員会が中心となり、国際奉仕委員会、新世代育成委員会、親睦活動委員会の協力や会員家族の協力をいただき井戸建設募金活動を行い、50万円を越す浄財を集めていただき、スリランカ井戸4本建設を柱に、アリ博士のサルボダヤ運動基金への寄付、絵本の翻訳などの援助支援ができました。残金は新しく設立したスリランカ基金として、次年度に引き継ぎます。また前年度同様地区補助金の申請が認められ、2月に「特養施設けやき荘、憩いの森」へのおかめ桜植樹プロジェクトが実現できました。施設の方々や地域の皆様に喜ばれると思います。

新世代育成委員会江森委員長には国際青少年交換学生の件で大変お世話になりました。聖ヨゼフ学園宮田莉佳さんをブラジルに派遣致しました。間もなく帰国の予定です。またアメリカミシガン州からは逆に Abbey Moore さんを8月に引き受け致しました。最初にホストファミリーをお引き受けいただいた中野正人さん（浅野学園高校時代に神奈川県東ロータリークラブより国際青少年交換学生としてオーストラリアに派遣）ご家族には Abbey Moore さんを6ヵ月間面倒見ていただき、大変感謝しております。Abbey は最初ほとんど日本語が分からなかったようですが、中野様のお蔭でかなり日本の生活にも慣れてきました。2月からは Abbey のカウンセラーとしてもお世話になっている梅崎副会長に3ヵ月間ホストファミリーとしてもお引き受けいただきました。奥様、お嬢様には特に Abbey の面倒を日々見ていただきました。彼女に毎日日記を付けさせることで、日本語を話すことはもちろん、書くことも上達し、感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。現在は最後のホストファミリーとして館野会員宅にお世話になっております。8月1日の帰国までよろしく願い申し上げます。また地区国際青少年交換委員の月山勇会員始め、古川幹事、白鳥会員、山本登会員、布施会員、田中栄会員、橋本会員、吉田会員、脇田会員、須永会員、尾島会員を始め多くの会員家族の方々に食事会やディズニーランド、原宿、国立劇場、クルージング、カラオケなどに Abbey をお連れいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。段取りをさせていただいた江森委員長に改めて感謝申し上げます。

ルーヤンロータリークラブへの青少年派遣では、アンケート実施から派遣までの準備をしていただきました。また三堀会員（ルーヤン R.C）中心に連絡を密に取っていただいたお蔭で無事派遣プロジェクトが成功終了できました。

もう一つ新世代関係ではルーヤン R.C のシャントオ・インターアクトクラブを吉田年度でホームステイ受け入れを致しましたが、今後両クラブ新世代派遣交流が継続発展していくためには、神奈川県東ロータリークラブもインターアクトクラブ提唱が迫られています。2つほど私の関係する高校にアプローチを致しましたが、思うように提唱クラブまで進めませんでした。ただ今春、神奈川県東ロータリークラブ関係者4名で説明に行きましたが、明るい希望が持てそうな感じでした。次年度も引き続き神奈川県東ロータリークラブへのアプローチをよろしく願い、早期のインターアクト提唱ができることを祈っております。

国際奉仕関係では、西山委員長が2月のIMでのパネラーとして神奈川県東ロータリークラブの国際奉仕活動の発表をされました。3月にはマレーシアルーヤンロータリークラブに4名の高校生を引率してのホームステイ派遣でしたが、貴重な海外での経験を面倒を見ていただきました。4月26日の瀧尾ロータリークラブ公式訪問にも会員家族14名の多勢で訪問した折にも一行の引率から瀧尾ロータリークラブへの気配りをさせていただきました。大変お世話になりました。また小池年度に行った記念植樹の桜は今年3度目の花を咲かせ、地域の皆様にも喜ばれていると聞いております。

瀧尾ロータリークラブの発展と両クラブの国際交流並びに友好が更に深まることを祈念するご挨拶を代表としてさせていただきました。

クラブ奉仕関係では5月24日に開催された最後のイベント「春の家族会」で長井親睦委員長始め委員会の皆様に大変お世話になったことに感謝申し上げます。暮れの家族会でも会場をホテルキャメロットジャパンからクリフサイドに移し例年と違った家族会を開催していただきました。初めての試みで戸惑ったことと思いますが、委員会の皆様のご尽力で楽しい会となりました。

上阪出席委員長には昨年度途中より出席率計算が変更になりましたが前年度同様に高出席率維持に努力していただき、ありがとうございました。

職業分類・会員選考委員会の渡邊委員長、会員増強委員会の須永委員長、ロータリー情報委員会の石川委員長には今年度入会者2名でしたが、正確かつ迅速な対応をしていただき、ありがとうございました。会員増強の面では年度初めに1名の退会者がありましたが、2名の新会員を迎えることができました。その新会員の1名海野会員が仕事上の都合で今年3月に、またクラブにとって重鎮な永井隆俊会員が一身上の都合により3月に退会されたことに会長としてショックを隠すことはできません。現在年度初めの目標の純増1名ではなく逆に1名減の64名ですが、次年度の河野年度では会員増強に重点をおいて努力していただきたいと思います。会員皆様のご協力も切にお願いします。

クラブ会報委員会の角田委員長や広報・IT推進委員会植田委員長には地味な活動ですが、毎週のクラブ会報の編集や誌面作り、ホームページの更新などにご尽力いただきました。同じくSAA 布施会員には毎週例会の運営、スマイル報告などでお世話になりました。

雑誌委員会の田中龍太郎委員長には毎月の「ロータリーの友」の記事紹介や、「ロータリーの友」へのクラブ関連記事を寄稿していただき、ガバナー補佐よりもお褒めの礼状をいただく程でした。

プログラム委員会横溝委員長には今年横浜は開港150周年なので、卓話も横浜開港に関連した卓話者に何度かお話をさせていただきました。開港150周年イベント会場見学にお越しの時は多少なりとも卓話の話が参考になることと信じております。今年度は横浜シリーズと環境問題シリーズを中心にプログラムを充実させていただきました。卓話者を多くご紹介していただいた石川会員、我妻会員、茂木会員に御礼を申し上げます。

厳しい経済状況の中、ロータリー財団の橋本委員長、米山奨学の

田中栄委員長には早々と寄付目標額を超える多額の寄付を集めていただき、地区でも寄付額上位になっており感謝の気持ちでいっぱいです。

また本年度から始まった米山学友ホームカミング制度に永井隆俊会員が1999～2002年当クラブがスポンサーとして米山奨学生だった張蕾さんを地区に推薦し、米山学友ホームカミング制度第1号が誕生致しました。まさに「夢をかたちに」が実現致しました。

今年度新設の環境委員会脇田いすゞ委員長には職業奉仕委員会や社会奉仕委員会とジョイントして、優良職場訪問の企画や「第4回よこはま水と緑の日」の運営や当日ロータリーのPRをしていただきました。

また江森会員には区民の方々に配布するロータリーPR資料の作成や地区大会のパネル展示物の作成など新世代育成委員会活動とは別にご協力していただきました。

最後に前年度吉田・加藤年度から受け継いだクラブの活力を衰退させることなく河野・山田年度にバトンタッチできるよう古川幹事と頑張りましたが、特に今年に入り会長の指導力の低下でクラブ並びに会員の方々、2590地区に多大なご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ないと痛感しお詫び申し上げます。次年度以降、クラブの益々のご隆盛を祈念致し、会長からの年度末ご挨拶とさせていただきます。

副会長 横山 範夫



2008-09年度 RI 李東建会長テーマ「夢をかたちに」、犬飼会長テーマ「更なる奉仕を地域と共に」で7月4日に第1回の例会がスタートし、光陰矢のごとしと言うように年度末を迎えることとなりました。

副会長（クラブ奉仕委員長）として、出席委員会、クラブ会報委員会、親睦活動委員会、雑誌委員会、プログラム委員会、広報・IT推進委員会と6つの委員会の担当となりました。お蔭様で各正副委員長、委員の皆様のご尽力により滞りなく相済みました。皆様に対し、感謝申し上げます。

そして、もう一つの担当として米山カウンセラーとなり、中国浙江省の周鋒君のお世話をする事となりました。母国では西安交通大学で学び、日本では明治大学理工学部修士課程、研究として基礎理工学を専攻し、大変真面目で米山の活動にも積極的に参加してい

ました。私にとっても大変勉強になりました。

終わりに今年度の特長として理事会の前に事務局連絡会議（会長、幹事、副会長、副幹事、SAA、事務局）を事前に開催したことによりスムーズに運営できたのではないかと大変評価致します。

犬飼会長、古川幹事一年間ご苦労様でした。そして、副会長として非力でお詫び致しますと共に理事、役員、会員の皆様に感謝申し上げ年度末の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

副会長 梅崎 興生



平成20年7月に、いつも陣笠でよい何も役職は就きたくないと言っていた私に副会長の役を割り当てられ、副会長でも第2番目の副会長ゆえ気楽に一年間過ごさせていただきました。私以外の役員の方は、皆本当に真面目で一生懸命ロータリー精神で頑張っておられましたので、感心すると同時に感謝申し上げます。私は役目柄からロータリーの飲み会には出席できる役になっておりましたので、大部分の飲み会に出席して、楽しませていただきました。皆真面目で良いロータリアンばかりでした。

役目柄、交換留学生のホームステイを3ヵ月程引き受けましたが、留学生のアメリカの女子高校生アビーは大変背の高い184センチなので驚きましたが、性格の良い真面目な女子高校生でありました。本人も一生懸命勉強して日本語も上手になりました。ホームステイで本人も、日本の食事や習慣文化などの体験をしたので良かったと思います。

時間が過ぎてみれば、あっという間の一年間でした。何も大したことをしなかった副会長でしたが、皆さんありがとうございました。

幹事 古川陽太郎

まず始めに、年初にお話ししたごとく、一昨年より神奈川西R.Cの解散により、当クラブ宛てに振込まれていた事務局員費用（年間120万円）の収入が途絶えているという事実がございます。

これにより、次年度への備蓄繰越金が減少していく事態になっており、前年の吉田・加藤年度もこの件で大変ご苦労されたと心痛をお察し致しました。

今年度は更に一層の緊縮財政の中でのクラブ運営を余儀なくされ、



年度始めより各委員会に対して予算の絞り込みをお願いし、例年恒例となっている寄付金などの必要性や、その額も再検討させていただきました。

これに関して各委員会や、会員各位には多大なご不自由・ご迷惑をお掛け致しましたことを、まずもってお詫び申し上げます。しかし、皆様のご理解・ご協力のお蔭で、何とか上記の危機を乗り越え、次年度に備蓄繰越金を申し送ることができそうです。

さて、クラブ運営に関してですが地区目標の達成に関しては、

【R 財団寄付】

年次寄付合計 \$ 11,523.77 1人当たりの寄付 \$ 174.60

2009年1月1日付け 会員数66名

ベネファクター 5名

【米山奨学会寄付】

普通寄付合計 ￥393,000

特別寄付合計 ￥1,815,000 1人当たりの寄付 ￥33,454

2009年1月1日付け 会員数 66名

【会員増強】

2008年7月1日 会員数 65名

2009年5月31日 会員数 64名

2009年5月31日までの入会者数 2名

2009年5月31日までの退会者数 3名

増減数 - 1名

【青少年交換学生】

宮田莉佳さん、Abbey Mooreさん

【米山奨学生】

2008-09年度 周鋒君

2009-10年度 曹莹さん

【R財団国際親善奨学生】

2009-10年度 石田美緒さん

【地区補助金プロジェクト】

プロジェクト名：福祉施設『憩の森』植樹プロジェクト

おかめ桜5本の植樹（地区より¥290,000の補助）

【地区広報補助金プロジェクト】

プロジェクト名：ロータリー活動の広報用のぼり作成

（のぼり2種類作成代、ロータリー広報誌代として地区より¥64,000

の補助）

【台湾：滬尾 R.C 表敬公式訪問】

2009年4月26日(日)

【マレーシア：ルーヤン R.C への青少年派遣】

当クラブ会員家族(高1) 計4名・引率者：西山潔会員

2009年3月26日(木)～30日(月)

【地区大会】

地区第1回米山奨学生ホームカミング制度代表として、張蕾女史の挨拶・講演

2008年11月8日(土)

【第4・5グループIM】

パネルディスカッション・テーマ：『国際奉仕の夢をかたちに』

パネリスト：西山潔会員

2009年2月28日(土)

【2009-10年度 地区委員長・委員の推挙・委嘱】

国際奉仕委員長 青柳 紀 会員

米山選考委員 伊東 英紀 会員

米山学友委員 天野 公史 会員

国際奉仕委員 吉田 隆男 会員

クラブ奉仕委員 渡邊 淳 会員

国際青少年交換委員 月山 勇 会員

インターアクト委員 古川陽太郎 会員

その他、反町公園地域まつりにてのチャリティバザー、『よこはま水と緑の日フェスティバル』への参加・協賛...等々の活動については、枚挙に暇はございませんが、我がクラブの33年間にわたる伝統を汚すことなく、その輝かしい実績の積重ねには多少なりとも貢献できたのではないかと感じております。

これも一重に諸先輩並びに執行部の方々のご指導と、何を措いても会員各位のご理解・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

皆様、この一年間本当にありがとうございました。

会計 館野 典久



館野です。

今年で会計の仕事を受け持ち、6年間の最終年度となりました。

大変お世話になりました。いろいろとご協力を賜わりありがとうございました。

本年度は犬飼会長、古川幹事を始め理事・役員の皆様ありがとうございました。

朝日副会計にもご協力を賜わりありがとうございました。

会計とは関係ありませんが、アビーという交換留学生のホストファミリーとして5月24日からお預かりさせていただいておりますが、大変素直で我が家にも溶け込み楽しい毎日を過ごしております。残りの1ヵ月強をアビーにとっても良き日本での思い出を作れるよう努力していきます。

クラブ協議会

4F フェアウインド



お知らせ

ワンワールド・ワンピーブルの鈴木様からメールがきましたので紹介します。

《井戸3ヵ所建設の件》

21年の正月、スリランカを訪問、神奈川東ロータリークラブ支援井戸No.31の完成式を行いました。その旨記念写真と共に報告を致しましたが、現在、もう3ヵ所の建設支援を行う準備を進めてまいりました。

本来5月末頃再訪して完成式を行う予定でしたが、現地の情勢で延びのびになっておりました。結局8月に行う学生のスタディツアーの際に完成式を行うことになりました。

井戸設置場所はキャンディ県とポロンナルワ県です。

また、スリランカでは長年苦しんできた内戦も軍事的には終わり、国の民族的和解と復興が大きな課題になっております。この時期に日本の大学生が訪問し、現地の大学生と交流したり、貧困に喘いできた農村に井戸を建設するのは大変意義があると思っています。せっかくですので、両国学生が作る井戸2ヵ所の内、1ヵ所を貴クラブの井戸にすることも考慮しております。場所はポロンナルワ県の北隣のアヌラダブラ県を予定しております。

ワンワールド・ワンピーブル協会 鈴木 一男

ロータリーミニ情報

財務状況に関する最新報告（抜粋）

3月と4月に国際ロータリー（RI）とロータリー財団の両組織で好ましい投資結果が見られ、今会計年度において初めて2ヵ月連続での投資の伸びが見られました。この結果、2月の時点で2,600万ドルだったRIの投資損失は1,800万ドルに減少（4月30日現在）し、財団の投資損失は2億2,200万ドルから1億8,700万ドルに減少。現在までの損失の大半は含み損（未実現損失）であり、市場が回復すれば状況は好転すると思われま。

RI財務委員会は、4月に2009-10年度のRIの運営予算提案書を検討。6月のRI理事会会合で予算の承認を推奨しました。RIの一般余剰資金については、2009-10年度を通じ、RI細則が掲げる85%の水準以上を維持するものと見込まれています。

また、財団管理委員会は、4月に2009-10会計年度の運営緊縮予算を承認しました。今後数年間は、これまでのように運営資金を確保することができなくなる可能性があり、ジョナサン・マジアベ管理委員長は、財団の予備金を回復させるため、公正かつ効果的な複数年計画を立てることを目的とした特別委員会を任命。さらに、財団の投資諮問委員会は、プログラム経費と運営費を賄うに十分な流動資産が維持できるよう、年次プログラム基金の投資方針の見直しを行っています。財務に関する詳細はRIホームページ <http://www.rotary.org/ja/aboutus/financials/pages/rifdefault.aspx> をご覧下さい。

エド・フタ（布田）RI事務総長

『ロータリージャパン』ホームページ情報

ロータリーの友事務所では、次年度（2009-10年度）『ロータリーの友』12月号と3月号の表紙を飾るロータリアンの写真を追加で募集しています。募集要領は『ロータリージャパン』日本語ホームページ <http://www.rotary.or.jp/contents.html>

「ロータリーの友事務所からのお知らせ」をご覧ください。『友』誌2009年7月号縦組みP27にも掲載の予定です。締め切りは8月末です。

次回《7月3日》の卓話予定

新年度挨拶

会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計